

災害に備えて 防災意識を高めよう

～令和3年8月大雨災害の状況～

8月11日(水)から激しい大雨に見舞われた多久市の災害対応や被害状況などをお伝えします。今回の災害を今後の防災につなげていきましょう。



多久市災害対策本部会議の様子

8月

災害情報・対応の動き

11日(水)

- 11時33分 「大雨警報(土砂災害)」発表、災害情報連絡室設置
- 16時 第1回災害対策本部会議(23日(月)までに21回実施)
- 16時22分 「洪水警報」発表

12日(木)

- 10時15分 「土砂災害警戒情報」発表
- 17時 市内6か所に自主避難所開設

13日(金)

- 13時10分 市内全域に「高齢者等避難」発令
- 17時20分 市内全域に「避難指示」発令

14日(土)

- 1時44分 「大雨警報(浸水害)」発表
- 3時30分 「大雨特別警報(土砂災害)」発表
- 5時4分 牟田辺遊水地越流開始
- 5時10分 市内全域に「緊急安全確保」発令
- 5時40分 「大雨特別警報(浸水害)」発表

15日(日)

- 6時10分 「大雨特別警報(浸水害、土砂災害)」解除
- 7時 納所排水機場浸水により電気系が故障し排水不能に
- 9時 市内全域の「緊急安全確保」解除
- 9時10分 避難所閉鎖
- 17時20分 「土砂災害警戒情報」解除
- 19時 納所排水機場に国土交通省排水ポンプ車設置完了

17日(火)

- 1時30分 「土砂災害警戒情報」発表
- 3時34分 「洪水警報」発表
- 7時30分 市内全域に「避難指示」発令、市内6か所に避難所開設

18日(水)

- 6時30分 市内全域の「避難指示」解除、避難所閉鎖

19日(木)

- 14時24分 「大雨警報(土砂災害)」解除



8月11日(水)から18日(水)にかけて断続的に雨が降り続き、特に14日(土)には集中豪雨に襲われた今回の災害。市内各地で時間最大55mm以上、総雨量1,000mm以上を観測し、2年前の佐賀豪雨以上となりました。

倒木・落石などのため県道岸川筋原線と市道白仁田・平野線が通行止め。さらに県道332号多久牛津線と県道25号多久若木線が一部冠水した

ほか、8月13日(金)の17時10分には妙見橋水位観測所で牛津川の水位が4.45mを超え、警戒レベル4相当の氾濫危険情報が発表されました。なお牛津川の水位は14日(土)の6時50分に5.83mに達しています。

最初の大雨警報が発表された11日(水)から1週間経っても警報は解除されず、不安な時間は長期化。19日(木)ようやくすべての警報が解除され、現在復興に向けて調査・復旧作業を進めています。

市内各地で災害発生

主な被害状況(8月23日現在)

人的被害 / なし	市道 / 70か所
住宅 / 床上浸水 6棟	河川 / 20か所
床下浸水 22棟	林道 / 37か所
	農地・農業用施設 / 23か所



～災害対策本部を復旧・復興推進体制で継続中～